

女を知れば、オトコになれる。

オトコ盛りのグラン世代が、さらにいいオトコになるためのバイブル。美容クリニック院長が語る、女性解体新書。

いいオトコ、いいオンナはなぜ焦らない？

「いい男、女は焦らない」そう、余裕があるんです。けど、そういう人って、頭の中は高速回転してフル活動しています。じゃあ、なぜそんなに頭の中が一杯なのに、余裕を持った動きができるのか。それは、いざとなった時の引き出しがたくさんあるからなんです。しかも、その引き出しが整理されていることが不可欠。多くを経験していて、なおかつそれが分析されている訳です。だから、どの経験の引き出しを使うか余裕を持って対応できるということ。経験とは「常に考え、意識して体験してきたこと」です。無意識に過ごした過去は、次に生かせないから経験という

引き出しにはならないんです。

”腹をくくる“オトコ”わきまえる“オンナ

「多くを経験した人は、人間性が奥深い」。この奥に何があるのだろうか、多くの人が魅了されます。そういう人は、経験値の幅が広いので、突発的なことが起っても動揺しません。そして、万が一の状況に怯えていても仕方ないことも経験しています。つまり、腹をくくってるんです。いかなる事態にもひるまないよう心をつめていて、物事の最終責任を負っているんだと思います。では、女はどうでしょう。もちろん、豊富な経験は必要ですが、女性はその中に、わきまえる“ことが求められます。5月号でも話しましたが、魅力的な女

性は威張りたい男性をそっと立てることを知っています。場をわきまえて、客観的に状況を判断できるわけです。引くところがわかっていながら、余裕を持って行動できるのです。

フェロモンっていったい何？
どうしたらできるの？

フェロモンって、いったいどんな意味なんでしょう。その昔、ファーブル『昆虫記』にも記されましたが、フェロモンとは、生物学的には臭腺などから発せられる伝達物質です。それは異性を刺激するものであるが、同時に引き付けるものである。じゃあフェロモンはどんな人からたくさん出るのでしょ？フェロモンの多さは、包容力の大きさに比例すると思うんです。刺激するが引き付ける。

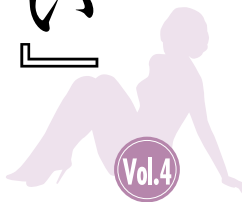
つまり魅了しながら包み込むんですよ。そのためには余裕がないとだめなんです。人を引き付けて受け入れる懐が必要なんです。オトコで言うと腹をくくっている人はいいですね。しっかりと自分の考えの上に日々を送っているわけだから、物事を受け入れる懐を持っているんです。

いいオトコ、いいオンナはフェロモンが多いんです

私の考えるフェロモンとは包容力です。ですから異性だけでなく同性に対してもフェロモンは発せられると思うんです。刺激を十分に発しながら受け入れられる。それは男性ならば腹をくくる。女性ならばわきまえる。いいオトコ、いいオンナはそんな包容力を兼ね備えているから焦らないんです。

『いいオトコ、いいオンナは焦らない』

藤井靖成



筆者からもう一言

私は医者として、たくさんの人に接し、人が生きることと考えるときました。人の命って限りがあるんですよ。残念だけど現実なんです。だから毎日をこだわって生きて欲しいですよ。そうすればきっと深い経験を積めますよ。でも決して焦らずにね。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。